



55

土山スポーツ少年団(ソフトボール)
まえだ あずさ
前田 梓さん(土山町北土山)

エースピッチャーはチームをまとめる頼れるキャプテン

甲賀市長杯小学生女子ソフトボール大会で決勝戦までマウンドに立った土山スポーツ少年団投手の前田梓さん。決勝戦は「雨で手が滑り思うような投球ができなかった。勝ちたかった」と悔しそうな表情で話してくれました。

小学校3年生のときに現在のチームに入団した前田さんですが、今年春、あこがれの元オリンピック代表選手に直接指導を受ける機会を得ました。その時、「ライズボール」という打者の手元で浮き上がるように変化する球の投げ方を教わりました。この球は小学生で投げられる選手は少ないのですが、前田さんは、この球種を覚えることができ、その後試合での投球に幅が広がったと白い歯をのぞかせます。

この春からは、キャプテンとしてチームのまとめ役もこなします。週末の練習では、常に先頭に立って動く彼女の姿があります。

「監督からの指示をみんなに伝え、いつもチームが一つになるよう心がけています」。

将来の夢を聞くと、「もし、オリンピックにソフトボールが復活したらぜひ出たい。」と目を輝かせて話してくれました。



▲力投する前田さん



瀬古の流星

甲南町の瀬古薬師堂近くの田んぼで、9月12日の日没直後から「瀬古の流星」があり、約90発の「流星」が打ち上げられました。流星とは、竹筒に火薬をつめた手作り花火で、瀬古薬師堂の会式に合わせて奉納されます。「甲賀忍者」の狼煙に起源するともいわれるこの行事は、戦争中にいったん途絶えましたが、火薬の配合が記されていた「瀬古青年買物控」の発見を契機に、昭和51年に地域活動の一環として復活し、現在では竜法師流星保存会によって続けられています。中には100メートル以上飛ぶものもあり、弧を描く光の軌跡が観衆の目を惹き寄せました。



▲夜空に弧を描く「流星」

夜空を飾る光の軌跡

手話でコーラス

甲賀市・湖南省手話入門講座

手話のできる市民を増やし、聴覚障がい者へ理解を深め、誰もが住みやすい地域をめざすことを目的に、6月から毎週火曜日にサントピア水口で甲賀市・湖南省手話入門講座が行われています。

講座には両市から31名の受講者が、市内在住の聴覚障がい者の方を講師に、手話の基礎を学ばれています。

9月6日の講座では、基礎講座の後、手話をしながら歌う「手話コーラス」の練習が行われました。

はじめは歌と手話の動きが合わず、戸惑う様子もみられましたが、繰り返し練習していくうちに少しずつ歌と手話の動きが合い、最後には、全員揃った手話の動きと美しい歌声が教室に響き渡りました。



▲手話コーラスの練習をする受講者のみなさん



元気なまちかど

第6回甲賀市長杯小学生女子ソフトボール大会



▲準決勝水口レッドスターズ対土山スポーツ少年団

伴合総合グラウンドで9月10日、甲賀市長杯小学生女子ソフトボール大会が行われました。台風の影響で日程が1週間延期になりました。が、市内3チームを含む県内外9チームが参

9チームが熱戦繰り広げる

かふか生涯学習館 天体観望会

かふか生涯学習館で9月10日、中秋の名月を観察する天体観望会が開催され、親子連れなど25名が参加しました。参加者は、職員から月にまつわる説明を聞いた後、天体ドームへ移動し、代わる代わる望遠鏡を覗き込みました。同館に備え付けられている天体望遠鏡は、県下でも最大級のもので、月の表面を鮮明に見ることができま



▲天体望遠鏡で月見を楽しむ参加者

「食」を通じて健康を考える

男の「うまみ」教室

男性を対象にした料理教室が9月10日、水口保健センターで開催され、12名が参加しました。

今年度からスタートしたこの教室は、「食」を通じて自身の健康を考えることを目的に年2回開催されるものです。

この日は、男性の健康づくり自主グループ「華板さん」の会員を講師に、調味料の計り方や出汁のとり方、野菜の切り方など料理の基礎を真剣に学んでいました。

始めてエプロンを付けた参加者もいましたが、「早速料理で家族サービスをしたい」「塩分を抑えた食生活を心がけたい」など、話を弾ませながら出来栄に舌鼓を打っていました。



▲講師の指導を受け料理をつくる参加者